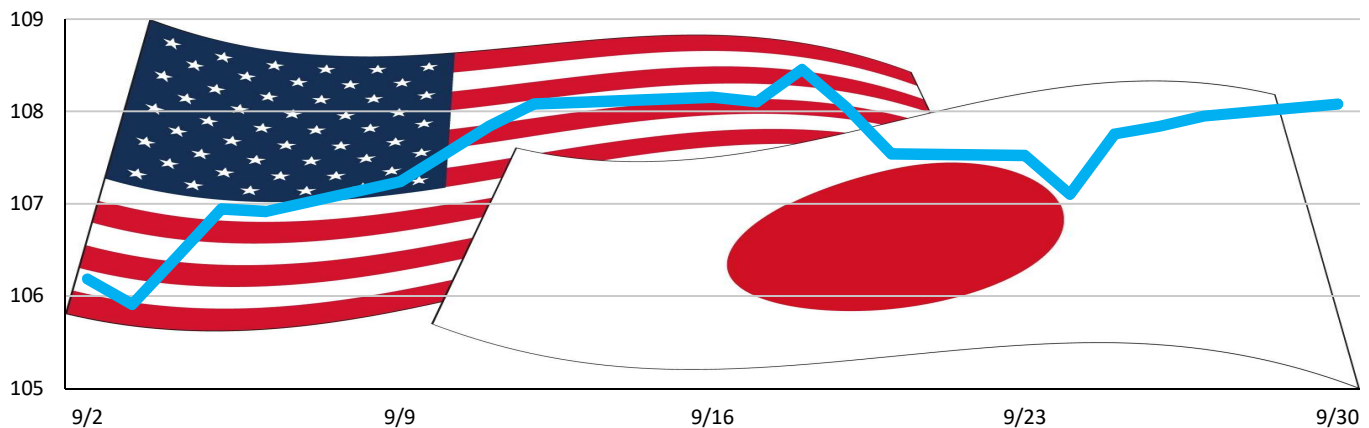


MARKET REVIEW

先月の振り返り：9月のドル円相場は105円後半～108円半ばで推移。米国が対中制裁関税第4弾を発動、対して中国は追加関税を発動し、ドル安スタートとなった9月相場。ただ閣僚級の通商交渉を開催することで合意と報じられると米株高の動きとなり、リスク選好のドル買いとなった。さらに一部の米国製品を追加関税適用から免除との発表や対中関税率引き上げ先送りの発表などがあり、108円台前半までドル高が進行。週中にはサウジアラビアの石油施設攻撃の報道などでドル売りとなったが、原油生産が予想よりも早く通常状態に戻る見通しと報じられドル買いの動きに戻り、FOMCを受けて108円台半ばまで値を上げた。その後、米中貿易協議の楽観論が一時後退したことでドル売りとなったが、10月に閣僚級の貿易協議を開催予定と報じられると安心感からドル買いとなった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：米中貿易問題の長期化がマーケットに影響を与え続けている。10月中の合意を目指して閣僚級協議などが控えているが、米中両国がすんなり合意できるとは考えにくい。これまでも協議を繰り返しながら進展が見られず、完全合意できなかった場合に世界経済への悪影響が増してくるため、リスク回避の懸念が高まってくる。一部では部分合意の可能性も指摘されているが、両国首脳の本音を考えると可能性は低いだろう。さらに英国EU離脱問題、香港デモ、各国の政策金利発表など影響を与える材料も控えているが、米中合意の行方が今後の流れを作る可能性が高く、見極めが大事だろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
10 / 24 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
10 / 31 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
10 / 31 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
11 / 1 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
11 / 7 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
11 / 14 (木)	8 : 50	JP	GDP速報値	☆☆☆☆
11 / 15 (金)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。